

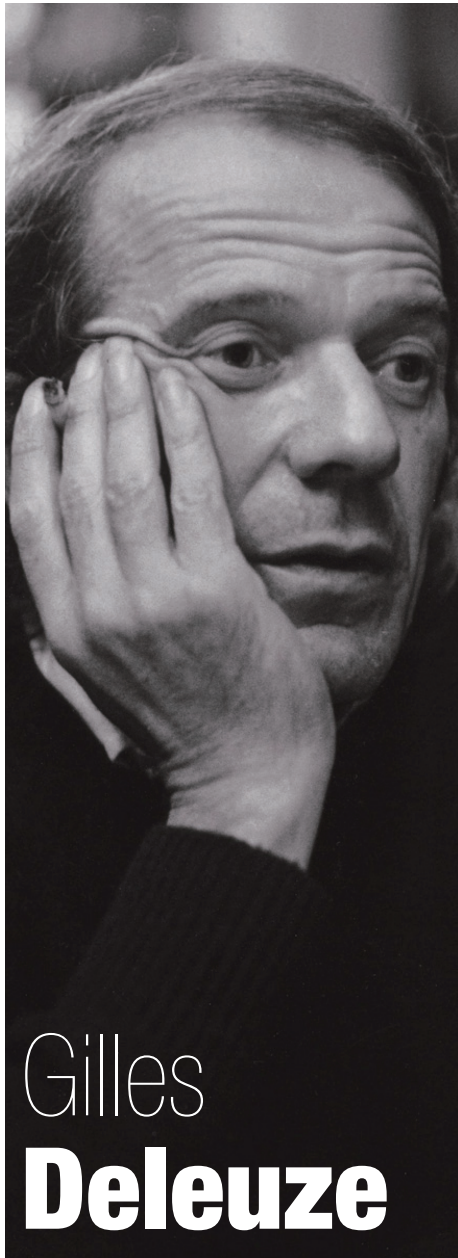
●《叢書・ユニベルシタス1063》ベルクソニズム《新訳》ジル・ドゥルーズ《著》檜垣立哉/小林卓也《訳》四六判/180ページ/上製/定価(本体2,100円+税)/ISBN978-4-588-01063-7 C1310/2017年07月刊行/法政大学出版局

# 43年ぶりの新訳!ドゥルーズ初 期の代表作! Le BERGSONISME

《叢書・ユニベルシタス1063》ジル・ドゥルーズ〔著〕檜垣立哉/小林卓也〔訳〕

# ベルクソニズム 〈新訳〉

四六判/180ページ/上製/定価(本体2,100円+税)/ISBN978-4-588-01063-7 C1310/2017年07月刊行/法政大学出版局



## Gilles Deleuze



第五章●分化の運動としてのエラン・ヴィ  
タル

訳者解説  
原注

### 〔著訳者紹介〕

ジル・ドゥルーズ(Gilles Deleuze)  
1925年生まれのフランスの哲学者。69年  
からパリ第八大学教授。哲学史を独自の仕  
方で読みかえるとともに、哲学本来のあり  
方を概念の創造に求め、構造主義以降の思  
想・芸術・文化に多大な影響を及ぼした。主  
な著書に、本書のほか『ニーチェと哲学』『ブ  
ルーストとシーニュ』『スピノザと表現の問題』  
『意味の論理学』『差異と反復』『感覚の論  
理』『シネマ1・2』『巽 ライブニッツとバロッ  
ク』などがある。また精神分析家フェリッ  
クス・ガタリとの共著で『アンチ・オイディプス』  
『カフカ』『千のプラトール』『哲学とは何か』  
を刊行。1995年死去。

檜垣立哉(ヒガキ タツヤ)

1964年生。東京大学大学院人文科学研究  
科博士課程中途退学。大阪大学人間科学  
研究科教授。著書に『瞬間と永遠』(岩波書店)、  
『ヴィータ・テクニカ』(青土社)、『生と権力の哲学』  
(ちくま新書)、『日本哲学原論序説』(人文書院)、  
『賭博/偶然の哲学』(河出書房新社)ほか。

小林卓也(コバヤシ タクヤ)

1981年生。大阪大学人間科学研究科博士  
後期課程単位取得退学。大阪大学人間科  
学研究科助教。論文に「ドゥルーズ『意味  
の論理学』におけるエピクロス派解釈につ  
いて」(『フランス哲学・思想研究』第17号)、  
“The Aesthetics of Nature in Deleuze’s  
Philosophy” (Philosophy Study, Vol. 3,  
No. 9) ほか。

※上記内容は本書刊行時のものです。

### 〔内容紹介〕

哲学史家ドゥルーズの初期代表作。直観や  
持続、記憶の理論を精査し、差異と多様体  
の概念を創造することでその後のベルク  
ソン解釈を完全に塗り替えるとともに、ド  
ゥルーズ自身の哲学をも決定づけた古典。潜  
在性と現勢性とはいかなる関係にあり、持  
続の一元論とは何を意味するのか? 長く  
親しまれた『ベルクソンの哲学』(宇波彰氏  
訳)から40年以上を経て、近年の研究動向  
を取り入れた新訳刊行!

### 〔目次〕

- 第一章●方法としての直観
- 第二章●直接与件としての持続
- 第三章●潜在的共存としての記憶
- 第四章●持続は一なのか多なのか

一般財団法人  
**法政大学出版局**

Hosei University Press

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3  
3-2-3 Kudankita, Chiyoda-ku, Tokyo, 102-0073

Tel. 03-5214-5540 | Fax. 03-5214-5542

Mail.sales@h-up.com

http://www.h-up.com/

ベルクソニズム(新訳)

( )冊

帖合・番線

定価(本体2,100円+税)/四六判/上製/180ページ  
ISBN978-4-588-01063-7 C1310

ご芳名

ご連絡